



# つ な ぐ

## 松ヶ枝地区 小中一貫教育について

松ヶ枝中学校と山の手小学校では、子ども達の学びを円滑につなぎ、健やかな成長を目指して、小学校と中学校が連携した教育活動の充実を推進しています。

昨年度は、中1ギャップ問題未然防止を目指し、各種アンケートや小学生を中学校へ招いての参観や体験を実施してまいりました。本年度も、様々な活動を通して小中一貫教育を推進してまいります。

保護者・地域の皆様、松ヶ枝地区小中一貫教育の取組へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

## 小中一貫教育のテーマは「つなぐ」

松ヶ枝地区小中一貫教育のテーマは「つなぐ」です。「目指す児童生徒の姿をつなぐ」、「子どもの学びをつなぐ」、「子どもの心をつなぐ」、「小中教職員をつなぐ」、「家庭・地域・学校をつなぐ」等、「つなぐ」ことで子ども達が「この地域で育ってよかった。」と愛着と誇りを持つことができるような学校環境をつくります。



R6 小中一貫教育  
グランドデザイン

### ●●●●● 本年度の小中一貫教育推進体制 ●●●●●

本年度も、「企画部会」を中心に「教育課程部会」「授業改善部会」「生徒指導部会」の各部会と各校の校内組織が連携しながら、小中一貫教育に係る様々な活動を推進してまいります。

#### ■部会員構成（敬称略）

部 会 名	小学校スタッフ	中学校スタッフ
企画部会	◎伏間 公洋 （校長）	○齋藤 直幸 （校長）
	齋藤 直哉 （教頭）	半澤 正宣 （教頭）
	岡崎 徹 （主幹教諭）	倉田 知寛 （主幹教諭）
教育課程部会	◎堀越 周子 （教務部）	○西村 昭彦 （小学校体育専科指導）
	関 正道 （健康安全部）	手代木雅彦 （教務部 総合・道徳）
授業改善部会	◎鎌田 委美 （学力向上部）	○高橋 純子 （研修部 校内研修）
	児玉 淳也 （学力向上部）	本間 啓太 （研修部 ICT・学籍）
生徒指導部会	◎齋藤友紀雄 （生徒指導・文化部）	○八柳 圭介 （生徒指導部 生活指導）
	平野 聖佳 （地域連携部）	瀬戸 倫太郎 （生徒指導部 生徒会）

◎：部長 ○：副部長

6月17日(月)には、小中一貫教育推進委員会の全体会と、各部会を実施しました。本年度の活動方針を共有するとともに、部会ごとに話し合い計画をたてました。和気あいあいとした雰囲気の中で、活発な議論が行われていました。



## 小中一貫教育 | 学期の取組

### ■ 中学校教員による小学生への体育指導

昨年度に引き続き、松ヶ枝中の西村教諭が山の手小の5、6年生の体育を指導しています。中学校の先生の専門的な指導を受けることで、子どもの体力・運動能力向上を目指します。また、水泳学習においても補助として指導することで、安全な授業作りを進めています。

### ■ 潮ねりこみへの小中合同参加

PTA や町内会の皆さんと一緒に、「山の手小 松ヶ枝中 踊り隊」として潮ねりこみに参加します。

本年度は小学生70名、中学生11名が参加予定です。札幌学院大学の「まちおこし研究会」の皆さんも一緒に踊ります。

### ■ 中1ギャップ解消のためのアンケート

中1ギャップの現況や原因を知るために、中学1年生にアンケートをとります。「中学校生活のよいところ」や「中学校に進学して変化を感じたこと」「小学校生活との違いで困ったこと」等の回答を集計・分析し、今後の学校づくりに生かしていきます。結果は、各校のHPでも公開予定です。

### ■ こども理解支援ツール『ほっと』を用いた、生徒理解の連携

北海道教育委員会で作成している、子ども理解支援ツール『ほっと』の結果を年2回(7月・12月)分析、交流します。進学によるコミュニケーションの変化を見とることで、中1ギャップ問題の未然防止を図ります。

### ■ 特別支援教育交流会

小中学校の特別支援教育に関わる教員が連携し、より手厚く、精度の高い引継ぎと、スムーズな情報共有を目指します。

### 2 学期以降の主な活動予定

8月	授業動画の撮影・配信(～10月) 写真提供・掲示(中学校体育祭等)
9月	小学校水泳授業補助
10月	部活動体験会 乗り入れ授業 写真提供(中学校学校祭等) 中学校体験入学
11月	外国語教育に係るアンケート 研究授業交流
12月	小中一貫教職員アンケート いじめ防止の取組連携 中1ギャップ解消アンケート② 特別支援教育交流会②
1月	年度末反省
2月	第2回小中一貫推進委員会全体会・一斉部会 小学校スキー授業補助 小学校卒業生の引継ぎ
3月	小中合同学校運営協議会